



西小だより
冬休み特別号
通刊 第460号
令和5年12月22日発行
在籍児童数 735名

西小学校の教育目標
やさしく、かしこく、たくましく
めざす児童像
『にっこり、しっかり西小っ子』



今年一年を表す漢字は・・・

白岡市立西小学校 校長 辻 文明

8月28日（月）にスタートした2学期も無事に終業式を迎えることができました。

コロナやインフルエンザなど今年も流行していますが、大きな行事や日々の教育活動も計画通り進めることができ、子ども達や保護者、地域の方々とふれあいを実感できる素晴らしい2学期になりました。明日から子ども達が楽しみにしている冬休みがスタートしますが、子ども達の安心・安全の見守りを引き続きよろしくお願いたします。

さて、年の瀬を迎え、例年よく耳にするのは「今年1年を漢字1文字で表すと・・・」という質問です。みなさんは、どんな漢字を思い浮かべますか？ちなみに1年の世相を表す「今年の漢字」に「税」が選ばれました。（日本漢字能力検定発表）「増税」や「減税」など自分の生活への期待や不安の表れなのでしょうか。たしかにニュースを見ていると「税」という言葉を耳にしない日はありませんが、税をどんな目的で活用し、将来の日本がどうなっていくのかやはり気になるところです。

子ども達が大人になる10年、15年後はどんな世の中になっているのでしょうか。予測不可能な社会という言葉がよく使われますが、子ども達には、いつまでも心穏やかで希望に満ちあふれ、力強く生きていってほしいものです。そのためにも「力強く心豊かに生き抜く力」を身につけさせることは私たち大人の大きな役割になってきます。

学校は、子ども達に様々なことを学ばせ、経験を積ませ、楽しさや喜び、時には悔しさを味わう場所でなければなりません。たくさんことごとを経験する場所が学校であり、学校のもつ一番の存在意義だと感じています。思い通りにいかないことやがまんすることを学ぶのも学校です。甘やかすすぎても厳しすぎても教育はうまくいきません。「認め、褒め、伸ばす」この教育理念にブレはありませんが、「褒めてばかり」「子どもをかばってばかり」では、子どものよりよい成長は期待できません。どのような教育を行っていけばよいか、日々悩みながら私は学校経営を進めています。そんな意味では私の今年の漢字一文字は「悩」かもしれません、決して暗い意味の「悩み」ではなく、子ども達の明るい未来にむけてのポジティブな悩みです。私たち大人がたくさん悩みながらも共に手を携え、同じ方向を見ながら子ども達の「夢」を一緒になって支援していきたいものです。

あらためまして2023年も保護者の皆様、地域の皆様には、常に温かい御支援を賜り心から感謝申し上げます。2024年も教職員一同、心をひとつに全力でがんばりますので引き続き御支援の程、よろしくお願いたします。

それでは、健康に留意し、素晴らしい年末年始をお過ごしください。

笑顔いっぱい・元気いっぱい・やさしさいっぱいの2学期

子どもの笑顔



地域の笑顔



先生の笑顔

◇タブレットの使用について

冬季休業中は、全児童タブレットを持ち帰らせず。この機会にぜひ御家庭でも一緒にタブレットに触れてみてください。特に学習ソフトは使いやすいものになっていますので、親子一緒に楽しみながら活用していただくと幸いです。

また、情報端末（ゲームも含む）のルールも確認してください。くれぐれもゲームのやりすぎには注意してください。*使用時間、使用する場所等の確認を！

◇年末年始のお知らせ

令和5年12月29日（金）～令和6年1月3日（水）は、学校閉庁日になります。この期間につきましては、職員は出勤をしていません。御理解と御協力をお願いします。新年1月4日（木）より通常どおりになります。

◇お願い

令和6年度の学級編制等に向け、児童数の把握を進めています。1名変わるだけで学級数が増えるか減るかという学年もあります。（白岡中進学児童についても同様）転出をする場合や転出する可能性がある場合は、早めに担任にお伝えください。また、悩んでいる場合も早めに相談いただくと幸いです。よろしくお願いたします。